

第5章 資料

1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

問2 問1で「はい」と答えた方に質問します。
(復旧・復興が)進んでいると感じている主な事業は何ですか。

- ・全て、少しずつ進んでると思う。
- ・特に何かということはないですが、まだまだ時間はかかると思いますが、少しずつ色んなことが復興してきていると思います。
- ・震災時と比べると、普通に生活できている。
- ・復興住宅の建設(複数)
- ・農業関係が復旧したと思う。
- ・段々と、田んぼや畑が元に戻ってきている。
- ・今までの景観と違うから。でも、海も見えなくなり悲しくなります。

問3 問1で「いいえ」と答えた方に質問します。
(復旧・復興が)遅れていると感じている主な事業は何ですか。

- ・インフラ整備、復旧・復興の考え方やアピール。ほかの市町に対して遅れている。今後の石巻の未来が不安
- ・石巻市全体の復興が他と比べて、遅れている。(複数)
- ・国へのはたきかけが不足(もっと積極的に)
- ・復旧は進んでいるが、復興は進んでいない
- ・人口の流出
- ・町内に人がいない
- ・転出者を呼び戻す政策
- ・地域間の格差が広がっている(複数)
- ・旧桃生郡の復興の遅れを感じる
- ・半島方面の復興が遅れているように思われます
- ・雄勝地区の復興の遅れ
- ・旧市内の生活の為、商店が不備である。
- ・居住地区だけを見ても進んでいるとはいえない。川堀の整備、側溝の悪臭
- ・以前、住んでいた所が、まったく進んでいない
- ・塩富町赤堀川近くに住んでいます。工事もまだに行きません。津波来ないか台風来ると、毎日心配しています。一日も早く安心出来る様に早急な工事をお願いします。前だおして工事行って下さい 川があふれない様毎日祈っています。
- ・障がい者のつとめる所が少ない。特に車がない者は大変
- ・退職者、高齢者の働く場がない
- ・学校保育所の施設整備
- ・万石浦小学校がおばけ校舎になっています
- ・湊に医療機関がありません
- ・コンサートや展示をする場所が旧市内にないので、見に行く機会がない
- ・市民会館などの文化センターの早期完成。遊楽館、ビッグバンは遠いです
- ・ゲートボール場
- ・危険地域の跡地の買い取り早く
- ・まだ仮設がある。集約できない
- ・漁港関係の施設
- ・公には感じますが個人的には老人は動く事が出来ず、役所へ行くのも困難です。その為、雨どいや外壁の殆んどが乾く事が無く如時迄住めるのか、いつ異変が起きるのか、気にかかります。
- ・子どもたちの遊び場が皆無に等しい
- ・東日本大震災以前と比べ、町がよりよくなったと感じられない。
- ・被災した建物の解体がされていない
- ・避難経路にも使う高盛道路やその他の避難道路
- ・わからない(複数)

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。

- ・旧市内とその他の地区の行政その他の差がないまちづくり
- ・行政がもっと市民よりであること。出来ないなら民間へ行政の委託をふやす。行政は、市民をまったく考えていないから。
- ・JR石巻駅周りで、バイパスと街中を連絡出来る、車も人も通行出来る道路に。石巻旧市街地の車走行しにくい。信号がバラバラ、案内標識少ない。街中が、車走行しやすくなれば、人も増えてくるだろうに。
- ・冠水の無い街づくり、路線の充実
- ・まず、でこぼこの道路を整備。高齢者がこわがって歩きたくなくなるようです。
- ・歩くのに大変になったので、バス等の台数増やしてほしい。
- ・歩道がない
- ・自転車でも安心できる道
- ・網地島への夏季のフェリーの便を増やしてほしい。始発（9時）にも定員オーバーでのれず、11時の便まで待つ事も
- ・郊外から市内へ車で出入りしやすい道路の整備
- ・市営住宅の建設、現在の市営住宅は古い
- ・宅地整備。山を切り崩すなど、土地の有効活用が必要と感じる。若い世代が住みたくなる都市計画づくりを。
- ・1000人以上入る施設
- ・早急に大きなコンサートホールを作ってほしい。
- ・渡波にも市民会館的なものがほしい
- ・図書館の整備・充実 放課後子ども教室のようなものの充実
- ・カフェなどを併設した多目的図書館があればいい
- ・プロスポーツの競技施設、サッカー、野球、テニスそれぞれ専用で。水泳、陸上など+屋内スポーツ施設。さらに大駐車場併設。プロや大学チームなどの合宿ができればなお良い+コンサート会場に転用できるようにすればよい⇒中高生との交流もはかれる。若者を活性化させる
- ・総合運動公園の充実（陸上競技場の整備）
- ・健康関連施設、娯楽室、談話室
- ・魚市場方面に 魚の駅を作る
- ・収入源となる事業、カジノ、競馬、競輪などの集客事業。壊れかけの船（サンファン）や萬画館では収入にならないし、活性しない。
- ・高齢者を対象としたスポーツ大会やクラブ体力増進施設、シルバー野球大会、ソフトボール大会、陸上競技
- ・イベントなどを魚市場などで行い、シャトルバスを3か所くらいから出す。
- ・孫たちと一緒に釣りなどできる場所があれば
- ・障害者、高齢者、子供が当然である町
- ・障害福祉もプラスしてほしい
- ・保育所等子育てを支援する環境とその施設の整備
- ・保健師と医療機関の連結
- ・働く場の創出、通勤できない人のために、石巻市内ばかり、（何でもですが）郡部にも目を向けて住みやすい、働きやすい、合併してよかったと思われる街づくりを考えてもらいたい。※特に高齢者には病院、買い物必需品の購入ができない市外は全てに目を向けられていない。
- ・若い人が定住できる働く場所、住居
- ・新企業の導入及び、石巻中心以外の観光の完備
- ・企業誘致・地震を生かした観光産業の構築、人と金を集める
- ・大型施設だけでない商業の場
- ・市内に人が多く来る場所がほしい
- ・一人、ひとりの自己意識の改革
- ・学校教育の充実：学力低下、不登校、いじめ等、教育問題が多いのが、本市の現状である。教育は国家百年の大計である。
- ・観光立市としての個別なスタンドプレーとならないようなまちづくり
- ・企業が労働法を遵守すること
- ・祈念公園での集客
- ・旧市内よりほかの地域の再生および復旧に重点を置いた石巻市！！
- ・建物や公園などの物理的なものより石巻に暮らす人々の精神的な復興、安定。できればもう一度ふるさとに暮らしたい（家が建てられない地区に指定されているがやはりそこには住みたい）
- ・桜を多く植えて下さい。人が集まります
- ・子供らが住みやすいまちづくり
- ・市民税の減税
- ・次世代の子供等に代償を支払わせない自信を持って引き継げるまちづくり
- ・石巻は水産品が主力だったのに、石巻だったら、これ！という目玉がない。市場の建物だけ立派で活気がない！特産品を作る
- ・積極的な移住を推進する事業整備
- ・未来を考え、育成のできるまち
- ・立町を区画整理して中心部に集客する
- ・わからない

2 男女共同参画について

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割としますか。

- ・80歳過ぎたら、できるものがやればよい
- ・それぞれの家族構成、事情による。(複数)
- ・どちらか出来る方がすればいい。祖父母も参加(複数)
- ・どちらでもない。出来るようにやるのがBest
- ・育児は両親、家事は家族
- ・家族が全員で協力して行うべき(複数)
- ・外で働いていない方(男でも女でもよい)
- ・共働きであればお互いにする
- ・決めつけるものではない。共同作業です。ただ、女性でなければ、男性でなければということもあります。
- ・私半分・祖母半分
- ・時間の間を見て
- ・職業的に1日1時間ほどしか子供とふれあえないので その中でできる事は全てやる。
- ・男は外で働き、女は家庭を守るという仕組みを全うできる方は何人いますか？
- ・夫はそれを手伝う!!(程度は知らない)
- ・父は父の役目、個人個人別
- ・役割と考える事がよくないと思う。

問10 女性が働くことについて、あなたはどのようにお考えですか。

- ・したい人はすればいい。家にいたい人はいればよい(複数)
- ・ずっと働き続けられればよいと思うが幼い子供がいれば難しい。
- ・その家族の状況によって決めればよいと思う(複数)
- ・その女性の意思を尊重すればよい(複数)
- ・それぞれの家庭の事情(複数)
- ・それぞれの考えで選択できること
- ・どちらでもOK
- ・なぜ、こういう質問がでるのかわからない。女性蔑視
- ・やむを得ず働く場合もあると思います。女性だからとかではなく
- ・育休後に働く
- ・育児や家事を手伝ったり助ける人がいるかいないかによる
- ・育児を優先したいが生活の為に働く
- ・家族の内容で違う、働ける環境であればした方がよい
- ・家庭の経済状況により働かなければならない方が多いと思う。(複数)
- ・家庭環境的に許されるなら多少働いた方が精神衛生上良
- ・家庭状況、個人の考えがあるため、こうすればよいというのはない
- ・環境によって働ける人は働ける方がよい
- ・環境によると思う(複数)
- ・経済力の問題だと思います
- ・結婚を機に仕事を辞め、子作り、育児に専念後、こどもが小学2年生になったら、仕事を再開。
- ・互いに苦にならない程度
- ・幸せの感じ方は人それぞれなので、一概に言えない
- ・産休、育休をもらい再び働く
- ・子どもがある無し関わらず働きたいときに働くのがよい
- ・子どもが生まれる前の仕事に戻れるか、再び働き始めるとき、別の仕事でもよいかで変わる。変わるの嫌なら働き続けるしかない
- ・子どものしつけが一番
- ・子供さんを見て預ける場所、見てくれる人がいらっしやるなら安心して働けると思う。
- ・自らの責任と信念において生活や行動に支障が出る場合には必要不必要の判断が必要
- ・収入第一主義で女性が子育てをすれば社会的に歪みがかかるから、女性の資質でケースバイケース。
- ・女性が働くこと、育児に専念することを自由に選択できるのがよい
- ・女性も男性も一人の一人人間として、その本人自身がどうしたいかが大切。周りが一方的に決める事ではないと思う。
- ・女性も働かないと食べていけないから働いている
- ・職種による。
- ・生きることの一部。あとは人の選択次第。
- ・石巻の賃金の相場では、共働きでないと経済的に生活ができない
- ・多用性男女共に認める
- ・男性の収入が十分であれば女性は、働かなくても良い
- ・働かないと生活できない(複数)
- ・働き続けられる体制ができていますか？
- ・働く時間を調整できるなら続ける。もしくは無理なら育児が一段落したら再び働く

- ・働ける状況であれば働いても良いと思う。(複数)
- ・夫の収入にもよるが、自分が働きたい仕事であれば続けることができたほうがよい
- ・夫の収入によって。女性が働くことはよいと思う
- ・夫婦で働かないで生活が維持出来る環境になるのか？(地元企業で)
- ・夫婦の話し合い、収入による
- ・本人の意思を尊重すればいいと思う。(複数)

問11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。

- ・3歳の壁問題の解決。3歳から就学時までの市の施設がない。(市の幼稚園は4歳から)
- ・お金
- ・この間になぜ介護という言葉が出てくるのか理解できない
- ・一定の人数の会社は保育所的なものを用意する
- ・子どもが病気しても預け先がないので、病児保育のある施設を設けてほしい
- ・子どもは母親の愛が必要。離職せず、子供との時間も取れるような社会になるよう子どもの時から教えていくしかない。
- ・子どもを育てるということへの熟考の時間。永遠なる議論もできる時間。
- ・子供との時間が大切
- ・取りやすい育児休暇
- ・状況に応じた税制優遇措置 e t c
- ・職員の人数を増やし、給料も上げる
- ・職場で人的に余裕がもてる 人員の確保
- ・職場の支援
- ・制度だけ整っても使いにくくは無意味。社会的に「取れる」権利でなければならない
- ・男女双方の育児、介護を両立する同僚の互助
- ・男性が育児に参加できるような社会のしくみ。雰囲気。(男性も育休を取りたいと思うがとりづらい)
- ・男性にも育児休暇や協力の誠意をみせて欲しい
- ・賃金を上げ終身雇用に戻す。非正規社員制度をなくす
- ・老若男女の意識改革

問12 政治や企業などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思えますか。

- ・能力、才能、行動力がないから
- ・その立場になりたい人、そのものが少ない(複数)
- ・それが常識だと思っているから。
- ・トップの地位につきたいと思う女性は少ない。ほとんどは結婚して家庭の仕事を選ぶ。経済的に足りない分だけパートに出る。それが普通として育っている
- ・もともと女性は受け身である
- ・家庭・子育て・仕事をバランスよくこなしていける働き方になっていないため
- ・家庭がある
- ・家庭における「母親の役割」にかわりがないから
- ・古い考えの男性をいつまでも審議会等へ入れさせる、システムまたはおしつけシステム
- ・高齢の政治家が多すぎる
- ・根本的な意識改革がされていないため
- ・仕事に割ける時間の割合が男性に比べ少ない事と、それに対する無意識的なリスクヘッジ
- ・社会環境
- ・社会的地位よりも生活の充実に価値がある
- ・周りの男性の理解
- ・周囲の偏見
- ・出産や育児がキャリアアップの弊害になる企業の制度が是正されないから
- ・女性のすべてが働きたがっているわけではない
- ・女性のレベルアップが大切
- ・女性は家庭を守っていく期間が長い為、指導的地位に専念できることが男性より少ない。
- ・女性は感情論で決めるところがあるから
- ・新しいことにチャレンジしないから
- ・人口を増やすことが大切。育児や子どもにかかるお金を減らすこと。そこに税金を投入せよ
- ・昔から日本に存在しているものだからだと思う。男尊女卑思想のような古い考え方にとらわれている人が多いと思う。特に年長者
- ・男が馬鹿
- ・男尊女卑の考え方をする人が多いから(複数)
- ・能力がない。適性がない。
- ・判断力が低い
- ・門戸自体が狭いだけだと思う
- ・論理的思考力は、概して女性よりも男性の方があがる。経営戦略を考える場合、論理的思考力は必須であると思う。

問13 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。

- ・おもいやり教育
- ・したければすればいい
- ・プロパガンダは、マスコミも巻き込んでそういう社会の有り様を常に伝え、浸透させていくこと
- ・やるのが当然の教育が必要不可欠
- ・環境の問題ではなく、男女問わず自身の意識の改革
- ・社会全体の意識改革
- ・企業の省力化により長期の休暇は無理
- ・企業の理解（複数）
- ・帰宅が遅いし、休みも不規則。働くのに平等な社会になってほしい
- ・個人の気持ちの問題もあると思う。
- ・互いの理解
- ・参画するための職場の理解の向上（複数）
- ・市政の改善が必要
- ・社会全体として、（国として）、男性が家事などに参加することについて、啓発、促進、浸透をはかる必要があると感じる。
- ・女性がやるのが当たり前だという決めつけをなくすこと。（複数）
- ・女性の方が家事がへただから教育が必要
- ・職場の理解をえられる法制化または罰則化がなければ無理でしょう。市独自の法則整備
- ・人を育てるとは何か考えること
- ・世の中の理解、会社の理解、うわべだけの政策はやめる
- ・生活にゆとりが必要
- ・男性が出産休暇、介護休暇取れるようになったが、会社の協力がなければ病気休暇でさえなかなか取れない。家事や子育てに参加する為に何かを犠牲にしなければいけない。
- ・男性の家事等の積極的推進について、社会全体の理解がもう少し進むこと
- ・男性は1家を守り働きづめでそんな余裕がない
- ・当人たちより親世代の人たちの意識を変える必要がある
- ・夫婦の話し合い、女性が男性にしてほしいことを求めすぎない
- ・有休がとりづらい環境にあるため、積極的に使えるようにしてほしい
- ・幼少期からの教育
- ・労働時間ではなく仕事の質で人事評価を受けられ休暇取得や残業なしの帰宅によって昇進昇給に不利益が生じないこと

問15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。

- ・みやぎ心のケアセンター
- ・石巻市市民相談センター
- ・弁護士会（複数）
- ・法テラス（複数）
- ・民間団体 イーハート
- ・友人
- ・わからない

問17 男女共同参画社会（※）を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。

- ・すべてが必要 むだなものは、ない
- ・共働きになる可能性があることを前提に、家族みんなで受けられる個別セミナーや講座。男性も参加して当然の環境を行政が作るべきだ
- ・子どもの医療費無料化や小児医療、産科の充実
- ・子どもの時から教える
- ・子育てのための税金を投入せよ。
- ・子育て介護などに時間をとることのできる自由度の高い先駆的な労働モデルの構築と実施
- ・市、独自の年金制度を作り、街づくりに運用、発想豊かな市議、市長、市職員求む
- ・市政の改善が必要
- ・市役所の運営の見直し
- ・社会（会社）自体が変わるしかない
- ・若い人たちの正社員化
- ・女性が自ら積極的に参画することがはじまりではないか
- ・石巻市自治体が女性登用等率先垂範する。
- ・全て女性のみ任せるとその結果を考える
- ・誰がやるべき、男女どちらかがやるべきという考えをなくすことがまずは第一だと思う。
- ・男性の意識改革
- ・保育園、小学校など、子供が病気の時でも預かってもらえるしくみ。

3 子育て支援について

問19 次の子育て支援事業を知っていますか。

- ・“らいつ”は聞いたことはあるがすべて知らない
- ・子供会
- ・子供食堂
- ・地区の子育てNPO法人に相談したことがある
- ・どこでやっているかわからない
- ・この様な組織が有る事さえわからない
- ・よくわからない
- ・わからない、知らない（複数）
- ・子どもがいないのでわからない（複数）
- ・一番知りたい
- ・若いお母さんに子育ての相談する場所アピールして下さい。虐待が多い

問20 ファミリーサポート事業をどこで知りましたか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・たまたま耳にした
- ・業務上 知っていた
- ・子育て支援でのボランティアで
- ・職場（複数）
- ・新聞記事
- ・不明（忘れた）
- ・福祉関係の専門職をしていた

問23 ファミリーサポート事業をどのような時に利用できるとよいと思いますか。

- ・休日の預かり
- ・習い事の送迎
- ・条件なしでいつでも（親が希望する時にいつでも）
- ・転勤で周囲に協力者がいない夫婦が沢山いる。その様な人たちが「利用できる」と思える方法、情報提供をしてほしい。全く知られていないと思います。

問25 子育てタウンを利用したことがないのはなぜですか

- ・まだ利用する機会がない
- ・もう少し子どもが大きくなったら利用したい
- ・結婚しておらず、子どももいない為
- ・子育てが終わったから（複数）
- ・子育て世代でない
- ・私達の子育て時にはなかったから
- ・必要を感じなかった

問26 子育てに関する情報は何かから入手しますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・子育て支援のボランティアをしながら
- ・職場 同僚
- ・大学の講義
- ・自分流
- ・こどもがいない
- ・子育てがおわたったので、関心がない（複数）
- ・必要なし
- ・わからない（複数）

問27 子育てに関する悩みや困ったことの相談は誰に（どこに）していますか。

- ・カウンセラー
- ・育児書を大量に読んで答えを見つける。
- ・家族で相談している
- ・学校の先生に相談
- ・保育園
- ・公共の相談窓口を探す
- ・市の相談窓口相談したいと思っているが、まだしていない
- ・子育て支援センターなどのスタッフ、助産師、保健師（複数）
- ・姉妹
- ・その内容による
- ・自分で考える
- ・あてはまらない
- ・こどもがいない（複数）
- ・しない（複数）
- ・今の所ないです
- ・今は相談される側です
- ・今は二人だけなので、知らない
- ・妻を震災で亡くし、子育てに関してわかりかねる
- ・子どもがある程度の年齢になると相談しづらい
- ・子育てで悩む必要ない。
- ・子育てにかかわる機会がない
- ・子育てに携わらないのでよくわからない
- ・市はちっとも頼りにならない。
- ・専門医などの情報が少ない
- ・相談する必要がない
- ・悩んだことがない
- ・夫は相手にならない
- ・老人の為、家族に相談されない
- ・わからない（複数）

問28 男性が子育てに参加しやすくするためには、どのような取り組みをしたらよいと思いますか。

- ・「育児について学ぶ男性向けセミナー等」を会社で行えば良いと思う。
- ・男女で参加できるセミナー
- ・産婦人科または入籍時のセミナー開催すべき。子と父、父と妻、父と家族、親の責任
- ・夫婦で参加しやすいセミナーなど
- ・父子参加イベント等（日曜日）
- ・子どもの時から教える
- ・小学校の学校教育の頃から、男女共同参画社会のありかたを学び、子育てについても男女平等の意識
- ・父子家庭が母子家庭と同等の補助や支援が受けられる
- ・父親とこどものみ利用可能な場所、施設をまず1か所作ってみる。女性（母親）がいると入りづらいと
- ・男性の意識改革を促すための広報など
- ・男性の職場への理解、協力が得られるような働きかけを行政として行う。
- ・参加できる位の余裕がある職業の収入があれば
- ・ポーズだけでなく、具体的に行動を起こしてくれる職員が欲しい。
- ・あらゆる取組を時間をかけて行うこと
- ・父親の積極性を望む。
- ・男性の子育てに対する意識改革をまずすべき
- ・子育てに対することは自身の意識の問題で、母親と同じ 妊娠から、出産までの間で、病院から夫婦
- ・男性自身の意識と社会等の子育てへの理解（複数）
- ・本人の自覚
- ・社会の理解、企業の理解（複数）
- ・社会全体の意識改革への取り組み
- ・職場の子育て中の男性社員への配慮（残業の軽減、年休の分割取得など）
- ・会社および家庭の環境を改善
- ・会社の理解！母の都合が悪ければ、男性が会社を休めるような体制が必要
- ・平日は仕事のみで費やされる実態。企業への働きかけの工夫をお願いしたい。
- ・労働時間の短縮、職場の意識改革
- ・子育てに参加しやすい労働環境の整備（複数）
- ・接する機会が単純に少ないだけではないか
- ・男性の自由時間の確保
- ・老人の為、家族に相談されない
- ・男性が進んで家事をする事はない家です。
- ・わからない（複数）
- ・なし

4 地域包括ケアについて

I 地域医療(かかりつけ医)についてお聞きします

問30 問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。
あなたはどのようにしてかかりつけ医を決めましたか。1つ選んでください。

- ・人間ドッグ受診を期に
- ・日赤からの紹介
- ・老人施設からの紹介
- ・他の医療機関からの紹介（複数）
- ・知人（複数）
- ・一度大きな病気にかかったことがあるため
- ・総合病院に入院した際の主治医で、その後開業した
- ・会社の健康診断で利用
- ・自分の職場が病院
- ・ずっと診てもらっている
- ・知識と人間性重視で
- ・家～職場間にあり、仕事後にいける。
- ・患者一人ひとりを大切にしてくれる先生
- ・休日も受診できる
- ・信用できるため

問31 同じく、問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。
あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。

- ・3分間診療でなく患者の聴きたい質問にも親切に答える。
- ・きちんと話を聞いてほしい。
- ・患者の話を聞いてくれる。選択肢を与えてくれる
- ・市外ですが近くて総合病院のため
- ・診察時間
- ・待ち時間を短くしてほしい。高齢者の病院通う回数が多すぎる
- ・夜間でも見てもらえる。
- ・予約制
- ・特に望んでいない

問32 問29 で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。
あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・いつも行くところがやめてしまった
- ・近くに医療機関が少ない
- ・そんなに親切な先生はいない。
- ・そんなに立派な医者は石巻にいない!薬の押し売りみたいな医者だけ!
- ・今まで受診した中では、信頼できる医者にあわなかった。薬ばかり多くよこして、ちっとも治らず、市販薬の方が効いた。一人の医者が個人の看者をじっくり見てくれるというのはムリだと思います。
- ・同じ医師に診てもらっているが、ゆっくり話せない。一方的で質問できない
- ・15～6年前に日赤で手術をしてからずっと日赤で受診、検査をしている。
- ・日赤に行っていました。あまり相談にならない。例、気のせいですとかの回答。食べすぎではないかとか。
- ・2～3年に1度くらいで行くときはたいてい同じ
- ・赤十字病院へ通院中
- ・かかりつけ医と紹介医の連帯が不足、だから生命に関わった残念です。
- ・症状に応じて行く病院が異なる
- ・職場に近い医療機関を利用している
- ・日本の医者も米国のように2年ごとに更新制にすればレベルが上がると思うのだが、現状は質が良いとは思わない。
- ・病院は決まっても特別なよりにしているわけではない
- ・あまり受診するような病気にならない
- ・健康だから（複数）
- ・昨年関西から来石なので"わからない"
- ・転勤が多い
- ・転入したばかり。転勤族
- ・石巻市に引っ越しばかりだから
- ・常時近くの医院に通院しているがかかりつけ医の定義に合っているか分からない。

問33 同じく、問29で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。ご自身のかかりつけ医を探す場合、どのような情報が役立つと思いますか。

- ・ドクターの客観的な情報
- ・医師や看護師の説明や対応の口コミ（複数）
- ・医師の評判
- ・周りの評判
- ・Dr. スタッフの対応
- ・かかりつけ医になってくれる病院
- ・パソコンだけ見ない先生
- ・対応してくれる医師、病院を積極的に紹介してくれる医師
- ・医師が信頼できるかどうか
- ・医師の技術
- ・医師の能力、対応力
- ・医者の人柄
- ・患者への接し方・待ち時間・通院のしやすさ・診療時間（複数）
- ・治療実績（プラスもマイナス点も）
- ・実際に診察を受けてから決める
- ・自分の時間に合うかどうか
- ・知人がいるといやだ
- ・理解していたつもりでも、そうで無い事が多い。病気に対する（患者への責任感と抱負）
- ・ない

II 終末期（人生の最期の迎え方）についてお聞きします

問35 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えたいですか。

- ・ホスピスや緩和ケア施設（複数）
- ・穂高岳
- ・家が望ましいが、家族の負担になるので、病院や施設になってしまうのでは
- ・海外
- ・自分にとって居ごちがよく人間的な所という前提
- ・長女の家
- ・どこでもよい
- ・家族がいればどこでも
- ・自分が一緒にいたいと思う人のそば
- ・大切な人の近く
- ・誰といるかによって場所はどこでも良い
- ・その時の状況
- ・現在の病院では難しいと聞いている。あくまで希望
- ・自殺を考えてしまうかも。
- ・夫を亡くした時点で考えが変わりつつある
- ・まだ、決めていない
- ・選べない

問36 万一、あなたのご家族が治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えさせてあげたいですか。

- ・ホスピスや緩和ケア施設
- ・湖畔
- ・静かに過ごせる特別な施設があるといい！
- ・病気により自宅か医療施設を選択
- ・人によって異なる
- ・その時の状況
- ・本人の意向に沿って決めたい（複数）
- ・本人の希望するところで可能な場所
- ・本人の希望を聞きたい。まだ考えたくありません
- ・本人の好きだった場所（思い出のある）

問37 問35で「1. 自宅」と回答した方にお聞きします。自宅以最期まで療養するために必要だと思うことを3つ選んでください。

- ・項目すべてが必要

Ⅲ 認知症についてお聞きします

問39 問38 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。
あなたが認知症と思われる人と接した場面について、当てはまるものを全て選んでください。

- ・グループホーム、デイサービスに入所している人たち
- ・ボランティアでたまにデイサービス・特養に行く
- ・介護施設でのボランティア
- ・大学のボランティア
- ・介護体験をした際に施設で
- ・学生時に老人ホームに見学へ行ったとき
- ・看護の実習を通じて（複数）
- ・仕事で・職場の研修で
- ・自分もその類に入って来たとき時々知る場面あり。人との会話が大切と思う
- ・老人会の会員
- ・友達が認知症になった
- ・親戚
- ・母親（死去）が認知症
- ・実家の父
- ・兄、姉
- ・私が認知症の診断を受ける
- ・本人が該当者

問40 あなたご自身やあなたのご家族、知人等が認知症の疑いがあると感じた場合、あなたは最初に誰に相談しますか。

- ・ケアマネージャー（複数）
- ・宮城心のケアセンター
- ・私自身認知症の疑いがある事が私自身わかるものでしょうか
- ・相談しない。自分で解決する様に努力する。万策尽きた時に相談します。
- ・民生委員が知っていたが、何一つ助言がなかった。医療機関しか頼れなかった。各機関があり、来たが、アドバイスは社協の方だけだった。結果的には、家族で判断するほかなかった。

問41 認知症になった時の備えとして、あなたはどんな取り組みをしたいですか。

- ・ゲートボール
- ・施設に入り、家族の荷を軽くしたい。それには大変お金がかかるので心配
- ・家族や近所の人と良く会話するようにしている
- ・軽い労働をする
- ・畑仕事に精をだす
- ・現在がんで治療中（在宅）自分が体験していることを聞きたい人に話してあげる。
- ・高齢者シェアハウス入居
- ・子供らにまかせる
- ・取り組みをしていない
- ・趣味は37年続けている
- ・身の周りの物を整理する
- ・読書やナンプレ、ナンクロなど空いた時間に行く
- ・認知症になる前の（なった際の）自分の考えをまとめておく
- ・普段から家庭円満になるように努めておく。
- ・友達と会い、腹の底から笑う
- ・友達を作るのはいいけどたくさんはいらない
- ・一人で暮らしているのでわからない
- ・その時になってみないとわからない
- ・わからない（複数）
- ・どうしようもないだろ

問42 今後増加が予想される認知症の人を地域で支える取り組みとして、必要だと思うものを全て選んでください。

- ・いち早く気付けること。素早い対処ができること。寄り添うサポートを望む。当事者も介護者
- ・なんでも、お金は、かかります。
- ・科学者の努力 認知症発症させない為のワクチンの開発 認知症治療の為のサンプルの開発
- ・介護人員がまるで不足状態、早急に法整備をして支援をすべき。
- ・各団体判断で無駄足ばかり要し、予算が足りない、認定から外れているなどでサポートされない。
- ・近隣住民の相互理解
- ・市の検診（認知症）
- ・周囲の理解
- ・身元保証の無い方への入所、入院支援制度の充実
- ・性別や世代に関わらず地域の声かけが出来る環境づくり
- ・認知症で迷子になった場合の地域での理解と保護活動
- ・認知症の人が入れる施設が圧倒的に少ない
- ・認知症を正しく診断し、適切な治療ができる医師 ほとんどそのような医師がいない！
- ・年金で支払することができること
- ・本気になり、自分の事のように各々の分野で支えてあげて下さい。支えて下さい。
- ・老いれば必然と可能性がでてきて、4人に1人の可能性であればガンと同じように、レベルの高いそして人にやさしい医療体制が必要となる。まず人を支える医療体制が必要。早期の医療・介護サポートを利用できる仕組みづくりでも内容を云々したい。

6 広報事業について

1 「市報いしのまき」についてお聞きします。

問52 問51 で「1. 必ず読んでいる」「2. たまに読んでいる」と回答した方にお聞きします。
「市報いしのまき」が読みにくい理由

- ・前より読みやすくなった
- ・字が小さい（複数）
- ・字が小さくて、老人には大変です。
- ・字が小さくてどこを知らせたいのか伝わらない
- ・一番よく見る子育てのページが、字が小さいし、ごちゃごちゃして読みにくい。
- ・活字が少し小さい、もう少しカラーのページが増えて欲しい。
- ・内容が多すぎる
- ・字が多く、もっと簡潔的にした方がいい
- ・字数が多くピッシリとつまって読みにくい
- ・あんまりこちゃこちゃしていると思う
- ・インデックスや目次をつけてほしい
- ・大事なところは赤枠で囲ってほしい
- ・自分が必要な記事が見つけにくい
- ・少し取材の削減をしたり、テーマ、ポイントを絞ることもよいのかも。何もかもは、読み辛い。
- ・以前の形態がよい
- ・以前のようなA4サイズ？くらいの大きさが良い（複数）
- ・タブロイド判ではなくA4版に。合併前の各町の動向等も載せてほしい
- ・県政だよりのサイズにした方が、読み易いし、保管し易い（以前の方がよかった）（複数）
- ・以前のような冊子がよい。ファイリングしやすかった。今はカラーはうれしいが、以前のイメージが強く、前の広報に戻るものが震災前に戻る気がする。
- ・紙面が大きくなってから、読みにくいし、保存しにくい
- ・いつもありきたりで興味が出るものがない、退屈
- ・いつも内容が同じ
- ・イベントなどは終わってからでなく、その前に
- ・事後のことだけで、事前の広報がない
- ・つまらない行事の紹介ではない
- ・公営住宅、道路等の工事箇所が多いためもあるが図が小さいため解らない部分がある。
- ・構図がよくない
- ・合併後は広範囲なので自分の地域以外は読まないでしまう。編集する人が悪いのではなく自分が悪い
- ・合併前の地区ごとの市報が良い
- ・子どもの写真が多い。以前の市報の方が役に立っし、見やすい
- ・市議会の事を多くおせて下さい
- ・写真が見えない。
- ・縦書きと横書きが混在しているので読みにくい
- ・新聞社（商業新聞）の社員が作っているから
- ・震災後つまらなくなった
- ・説明しにくい
- ・東松島は細かく、わかりやすいものが多い
- ・読みにくいというより、自分の住居地域の情報が少ないので利活用がしにくい
- ・読むところが多すぎて、つい見ない。
- ・漠然としている。お知らせが多い。
- ・一言で言えば・マクロ視点
- ・スタンスがまだ決まっていないのでは？
- ・読者の心にしみこむような文章や内容にして下さい
- ・復興関連の頁など、ムダなスペースがある場合がある。月1回の発行（1冊にまとめて増頁）でも良いのではないかと？

問53 問51 で「3. あまり読まない」「4. ほとんど読まない」「5. 読んだことがない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。

- ・「市報いしのまき」を知らなかった。（複数）
- ・HPで確認している
- ・もっと市民が必ず見ようと思えるアピール・工夫をせよ！今のままだと足りないしゴミになるだけ
- ・家族が読んでるので、家族に聞く。
- ・興味のある所、イベントや、当番医など斜め読み
- ・今の形が嫌いだ
- ・市外で働いているし、自分にとって今のところ必要な情報がない
- ・施設にいたので、読めない（字が見えない）
- ・存在を忘れる
- ・読みづらい
- ・内容がよくわからない
- ・必要な情報はネットでとれる
- ・文字が小さくてよめない、細い字を読むのが大変
- ・目が悪い為、読むのがむずかしい（複数）